

## 平成 30 年度第 1 回桑員地域医療構想調整会議 議事概要

- 1 日 時 平成 30 年 10 月 26 日（金） 19:30～21:00
- 2 場 所 桑名市大山田まちづくり拠点施設 2 階 研修室
- 3 出席者 青木大吾委員（議長）、桑原委員、田中委員、星野委員、田崎委員、小林委員、竹田委員、相田委員、佐藤剛一委員（代理：佐藤沙未医師）、青木孝太委員、山中委員、福本委員、遠藤委員、近藤委員、佐野委員、松本委員、松下委員
- 4 議 題
  - ・平成 29 年度病床機能報告結果について
  - ・必要病床数と病床機能報告を比較する際の考え方について
  - ・地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について
  - ・地域医療構想をふまえた 2025 年に向けた各医療機関の役割について
  - ・在宅医療体制の整備について

### 5 内 容

#### （1）平成 29 年度病床機能報告結果について

##### 《事務局説明》

- 平成 29 年度病床機能報告に基づく三重県全体の病床数は 16,391 床であり、前年比で 1 床増となっているが、平成 28 年度未報告であった 12 の医療機関からの報告があったため、実質的には 122 床の減になっている。なお、桑員地域においては昨年度から増減なしである。（資料 1－1）
- 病床機能報告は昨年 7 月 1 日時点の数値であり約 1 年間のブランクが生じるため、最新の病床数や病床機能について、別途アンケートにより把握をしている。それによると、昨年の 7 月 1 日以降の病床数は、県全体で 267 床減、桑員地域では 262 床減という結果であった。（資料 1－1）
- 病床機能報告の報告項目である「具体的な医療の内容に関する項目」のうち、高度急性期・急性期に関連する項目を、県内の高度急性期又は急性期と報告された病棟でどの程度実施しているかを確認したところ、約 7.2%にあたる 20 病棟がそれらの項目を全く実施していないという結果となった。（資料 1－3）

##### 《主な質疑等》

- 各病院の詳細データが無く他の病院と比較できない中で、自院の病床機能をどのように決めていけばよいのか。
- ⇒ 本日の事項の 3 で各医療機関間のデータを比較可能とする定量的な基準の考え方の例をお示しするので参考としていただきたいが、現状では各医療機関がそれぞれ自主的に判断することとなっている。

- 資料1-4の病床機能報告マニュアルの3ページに「病床機能報告でいずれの機能を選択しても、診療報酬上の入院料の選択に影響を与えるものではない」という記載があるが、その言葉の意味するところは何か。
- ⇒ 入院基本料は患者の重症度によって決められるべきものであり、病床機能で報告いただいた急性期や回復期などの機能によって、入院基本料が変わるわけではないという意味である。

## (2) 必要病床数と病床機能報告を比較する際の考え方について

### 《事務局説明》

- 医療型障害児入所施設及び障がい者の療養介護を行う施設の病床については、特定の患者のみが利用しているため、必要病床数と病床機能報告を比較する際は、病床機能報告から両施設の病床数を除いて比較することとする。(資料2-1)
- 病床機能報告の病床数と必要病床数を比較する場合は、2025年の必要病床数との比較だけではなく、医療需要のピーク時の必要病床数も勘案しながら、病床機能の分化・連携に取り組んでいくこととする。(資料2-1)
- 桑員地域においては、医療型障害児入所施設等の病床がないためこの考え方の影響はないが、2025年以降の医療需要のピークは2035年となることから、このピーク時の必要病床数の考え方は影響することになる。(資料2-2)

### 《主な質疑等》

- 桑員地域のピークは2035年ということなので、今まで将来の目安と考えてきた2025年のベッド数より増える見込みとなる。今後、どう増やしていくかの議論が出てくる。
- ⇒ 現在の必要病床数は2013年のデータを使って県が推計したもの。今後、2025年が近づいてくると新しいデータを使った2025年以降の推計を改めて行うものと考えている。
- これまでの桑員地域は高度な医療を行っていない地域で、地域外に患者が流出することが前提になっていたが、今後、桑名市総合医療センターが充実し、近隣地域から患者が流入することになると、推計結果も変わってくるのか。
- ⇒ 最新のデータで算出した場合、推計結果が変わる可能性はある。

## (3) 地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について

### 《事務局説明》

- 病床機能報告の結果と2025年の必要病床数を比較すると、全国的に急性期が過剰で回復期が不足するという傾向があるが、実態よりも多くの回復期病

床が不足するという誤解を生じているのではないかという指摘がなされている。そのため、地域医療構想調整会議の議論を活性化させるための方策の一つとして、回復期機能の充足度の評価や、医療機能の分化・連携の在り方を議論する上での目安となる定量的な基準の導入について国から各都道府県に要請がなされた。(資料3-1)

- 先行して定量的な基準を導入している4府県(佐賀県、奈良県、埼玉県、大阪府)は、それぞれ医療関係者等と協議の上独自の基準を工夫しているが、それらの基準を三重県に当てはめると、回復期機能の充足度が大きく変化するなどの結果となった。(資料3-2～資料3-4)
- 今後、先行府県の定量的な基準等を参考に、三重県版の定量的な基準を作成することとしたい。

#### 《主な質疑等》

- 回復期病床転換事業補助金を活用して病棟を整備した場合は、定量的基準如何にかかわらず、病床機能報告では補助金交付要領で定められた機能のまままで報告する必要があるという理解でよいのか。  
⇒ そのように考えていただきたい。
- 各府県の定量的基準を見ると、どの方式をとっても、地域包括ケア病棟は回復期に入るように見える。定量的な基準を入れるということは、地域包括ケア病棟は回復期病棟に入れますと言っているように見えるが、県の方針はどうか。  
⇒ 現時点では基準の内容は検討中であるが、ご指摘のとおり各府県の方式では地域包括ケア病棟は回復期にみなすというところが多いかと思う。ただ、この定量的基準は診療報酬に結びついていないものになるので、あくまで実態を把握するためのツールと考えていただきたい。今後いただいた意見を参考に、本県の基準を考えていきたい。

#### (4) 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について

##### 《事務局説明》

- 平成30年2月7日付の国からの通知「地域医療構想の進め方について」においては、2025年における役割・医療機能ごとの病床数について毎年度具体的方針を取りまとめることとされているが、平成30年度以降の地域医療介護総合確保基金の配分にあたっては、この具体的対応方針の進捗状況を考慮するとされている。(資料4-1)
- 本県における2025年に向けた具体的対応方針の取りまとめについて、昨年度は、公立・公的医療機関等の役割を協議したところであるが、本年度は公立・公的医療機関等以外の医療機関の役割についても協議を行う。(資料4-2)

- 現在、民間医療機関に 2025 年に向けた今後の方針・計画の提出を依頼しているところであり、次回の調整会議において具体的対応方針の取りまとめに向けた協議を行う予定である。(資料 4-2)

#### 《主な質疑等》

- 公立・公的医療機関等の役割の協議はもう済んでいるということによいか。  
⇒ 病床数はまだだが、どういった機能を担うかという役割については決定済みである。
- 国からの通知によれば、県は、各病院・病棟が担うさまざまな状況を提示することとなっているので、そうした状況がわかるデータを示してほしい。  
⇒ 意見交換会では病院ごとの状況をお示ししたところであるが、病棟ごととなると難しいところもあるので検討させていただきたい。

### (5) 在宅医療体制の整備について

#### 《事務局説明》

- 今年 6 月から 7 月にかけて市町ヒアリングを実施し、在宅医療・介護連携の各市町の現状についての把握を行った。(資料 5-1)
- 平成 30 年度より、医療計画や介護保険事業（支援）計画の改定が行われ、在宅医療・介護連携推進事業の全ての項目を実施することとされている中、県内の各市町において各種の取組が進められている。(資料 5-1)
- 桑名市、木曾岬町においては、一部の事業を共同で実施。緊急時のバックベッド確保、関係者の情報共有を図るための ICT の導入、アドバンス・ケア・プランニングシートの作成等により体制の充実を図っている。(資料 5-1)
- いなべ市、東員町においては、ほぼ全ての項目を共同で実施。病院と地域の看護職等を対象にした「アクションミーティング」の開催により、看護職を通じた病院と地域との連携体制の構築に取り組んでいる。(資料 5-1)
- 在宅医療に関する各種指標について、進捗状況を把握するため、できる限り市町単位で現状の数値をとりまとめたので報告する。(資料 5-2、5-3)
- 療養病床を有する医療機関における病床転換の意向を調査したところ、平成 30 年度～平成 32 年度末までの間に介護保険施設（介護医療院）に転換する予定の療養病床数は、県全体で 107 床、桑員区域では 96 床であった。(資料 5-4)

#### 《主な質疑等》

特になし